

カルバート補修調査設計業務委託内訳書

カルバート補修詳細設計

設計内訳書

項目	規格	単位	数量	適用	単価表番号
設計計画		式	1	補正対象(総面積)	1
原因推定および健全度評価		基	1	補正対象(1基当たり)	2
補修工法の比較・検討		基	1	補正対象(1基当たり)	3
補修詳細設計(カルバート)		基	1	補正対象(1基当たり)	4
補修詳細設計(伸縮継手)		基	1	必要に応じて計上	5
補修詳細設計(高欄取替)		基	1	"	6
施工計画		基	1	補正対象(1基当たり)	7
概算工事費の算出		基	1	補正対象(1基当たり)	8
設計協議		式	1		9
照査		式	1	補正対象(総面積)	10
報告書作成		基	1	補正対象(1基当たり)	11

※補正対象項目は面積補正係数を乗じて補正すること。

※現地の状況から必要な項目を選定し、使用すること。

※その他原価及び一般管理費等は、業務関係標準積算基準 設計業務 土木設計等積算基準に準じて計上すること。

※電子成果品作成費は、業務関係標準積算基準 設計業務 土木設計等積算基準 電子成果品作成費の概略設計、予備設計又は詳細設計に準じて計上すること。

カルバート補修詳細調査

調査内訳書

項目	規格	単位	数量	適用	単価表番号
現地踏査		式	1	補正対象(総面積)	12
調査計画		式	1	補正対象(総面積)	13
形状調査・一般図作成		基	1	補正対象(1基当たり)	14
変状調査 頂版, 翼壁		基	1	補正対象(1基当たり)	15
変状調査 側壁, 底版		基	1	補正対象(1基当たり)	16
調査結果とりまとめ		基	1	補正対象(1基当たり)	17
高圧洗浄		m ²	—	必要に応じて計上	18
高所作業車運転		日	—	"	19
高所作業車使用日数		日	—	"	20
交通整理員		人	—	"	21
鉄筋探査		箇所	—	"	22
はつり調査・復旧		箇所	—	"	23
コア採取・復旧		箇所	—	"	24
中性化試験		試料	—	"	25
圧縮強度試験		試料	—	"	26
静弾性係数試験		試料	—	"	27
塩分含有量試験		箇所	—	"	28
膨張量試験		試料	—	"	29

※補正対象項目は面積補正係数を乗じて補正すること。

※現地の状況から必要な項目を選定し、使用すること。

※諸経費率は、業務関係標準積算基準 地質調査業務 地質調査積算基準に準じること。

※電子成果品作成費は、業務関係標準積算基準 地質調査業務 地質調査標準歩掛等 機械ボーリング 電子成果品作成費に準じて計上すること。

面積補正係数

BOX面積A=延長×内空幅

標準歩掛は、BOX面積を50m²としている。BOX面積により下表の補正係数を乗じ歩掛の補正を行う。

2連BOXの場合は、下表の補正係数を乗じ歩掛の補正を行う。

補正係数

BOX面積	補正率
～10m ² 未満	0.5
10m ² 以上～20m ² 未満	0.6
20m ² 以上～30m ² 未満	0.7
30m ² 以上～40m ² 未満	0.8
40m ² 以上～50m ² 未満	0.9
50m ² 以上～60m ² 未満	1.0
60m ² 以上～70m ² 未満	1.1
70m ² 以上～80m ² 未満	1.2
80m ² 以上～90m ² 未満	1.3
90m ² 以上～100m ² 未満	1.4
100m ² 以上～110m ² 未満	1.5

BOX型式	補正率
2連BOXの場合	1.7

※110m²以上のBOX面積又は3連BOX等は別途見積りを徴収すること。

単価表 (詳細設計)

※補正対象項目は面積補正係数を乗じて補正すること。

単価表 1

1式

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
設計計画			0.1	0.3	0.3		

単価表 2

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
原因推定および健全度評価				0.2		0.2	

単価表 3

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
補修工法の比較検討			0.1	0.1	0.2	0.4	0.5

単価表 4

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
補修詳細設計(カルパート)				0.10	0.20	0.20	0.50

単価表 5

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
補修詳細設計(伸縮継手)				0.20		0.40	

単価表 6

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
補修詳細設計(高欄取替)				0.10	0.10	0.30	0.40

単価表 7

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
施工計画				0.10		0.10	

単価表 8

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
概算工事費の算出					0.10	0.20	0.20

単価表 9

1式

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
初回打合せ			0.50	0.50			
中間打合せ(2回)				1.00	1.00		
最終打合せ			0.50	0.50			
合計			1.00	2.00	1.00		

単価表 10

1式

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
照査			0.20	0.20			

単価表 11

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
報告書作成			0.10		0.30	0.50	0.50

単価表 (詳細調査)

※補正対象項目は面積補正係数を乗じて補正すること。

単価表 12

1式

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
現地踏査			0.10		0.10		

単価表 13

1式

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
調査計画			0.10	0.10	0.20		

単価表 14

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
形状調査・一般図作成				0.10	0.20	0.20	

単価表 15

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
変状調査 頂版、翼壁			0.20	0.30	0.50		

単価表 16

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
変状調査 側壁、底版			0.20	0.40	0.40		0.40

単価表 17

1基

区分	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
調査結果とりまとめ			0.10	0.20	0.20		0.30

単 価 表 (詳細調査)

単 価 表 18 100m²当り

区分	普通作業員	機材賃料	計
高圧洗浄	2人	物価賃料	
	労務単価		

※歩掛りは総合計の橋面積100m²当りとする。ただし100m²を下限とする。所要日数1.0日/100m²

単 価 表 19 1日当り

区分	運転手(特殊)
高所作業車運転	労務単価

単 価 表 20

区分	1日当り(円)
高所作業車使用	物価賃料

※側壁露出高3.5m以上の場合に、高所作業車を計上する。総合計の橋面積100m²当り1日とする。単価表18,23,24に高所作業車の必要な日数を計上する。単価は物価賃料の賃料による。

単 価 表 21

区分	1人当り(円)
交通整理員	労務単価

なお、水路カルバートなど車両が使用できない場合は、必要に応じて足場等を計上する。

単 価 表 22

区分	1箇所当り(円)
鉄筋探査	施工歩掛

※施工歩掛は、日本建設機械施工協会発行の「橋梁架設工事の積算」【4.7落橋防止システム工 4.7.5施工歩掛】の(2)鉄筋探査工による。

単 価 表 23 1箇所当り

区分	地質調査員
はつり調査・復旧	0.2人
	労務単価

※所要日数0.2日/箇所

単 価 表 24

区分	1箇所当り(円)
コア採取・復旧	施工歩掛

※施工歩掛は、土木工事標準積算基準書【第IV編道路 第3章道路維持修繕工 13)落橋防止装置工】のうち、コア採取は4-1コンクリート削孔工(コアボーリングマシン)、復旧は4-7充填補修による。

単 価 表 25

区分	1試料あたり(円)
中性化試験	県単価

単 価 表 26

区分	1試料あたり(円)
圧縮強度試験	県単価

※県単価「圧縮強度試験」には、「コアの切断・資料研磨整形(1資料2面分)」の費用が含まれていないため、加算計上すること。

単 価 表 27

区分	1試料あたり(円)
静弾性係数試験	県単価

※県単価「弾性係数試験」には、「圧縮強度試験」と「コアの切断・資料研磨整形(1資料2面分)」の費用が含まれているため、圧縮強度試験と合わせて実施する場合は注意すること。

単 価 表 28

区分	1箇所あたり(円)
塩分含有量試験	県単価

単 価 表 29

区分	1試料あたり(円)
膨張量試験	県単価